

津波シミュレーションの採用経過と高盛土道路の設定について

- 中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」において検討

・H23. 6月(中間) ・H23. 9月(報告)

- ・復興計画の策定等を支援するため、迅速かつ適切な津波浸水シミュレーションを実施するための標準的な方法や条件設定の考え方など東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波に関する専門調査会」等において検討がなされた。

- 東北大学モデル (version1.0) を採用 * 今次津波(L2)

- ・東北大学モデル (version1.0) は、東北地方太平洋沖地震津波の再現モデルとして、岩手県・宮城県・福島県沿岸部の津波遡上高及び遡上域等の調査結果を基に提案された。
- ・宮城県・岩手県・福島県で採用されている。

- 宮城県沿岸における海岸堤防の高さの設定 (宮城県)

・H23. 9月(公表)

- ・国土交通省より「中央防災会議専門調査会」を踏まえた海岸堤防の高さ決定の基準が示され、宮城県は地域海岸に区分して堤防の高さを設定した。
- ・海岸堤防の高さや構造などは、海岸を所管する国及び宮城県の関係機関等から構成される「宮城県沿岸域現地連絡調整会議」において決定した。

<資料2> 海岸堤防の高さの設定

- 津波シミュレーションの実施 * 今次津波(L2)

- ・東北大学モデル(version1.0)を採用した。* 今次津波(L2)
- ・津波シミュレーションは、東北大学、宮城県の指導を受けながら行なった。

- 多重防御となる高盛土道路等を設定

・H23. 11月

- ・東北大学モデル (* 今次津波(L2)) による津波シミュレーションを行い、高盛土道路等を設定した。
- ・災害に強いまちづくりを基本とした都市基盤整備復興基本計画を作成。

- 石巻市震災復興基本計画の策定

・H23. 12月策定

- ・甚大な被害を受けた石巻市が将来的な復旧・復興を実現していくための道標として策定した。